

被災松 音色聴かせて



陸前高田市の流木でバイオリンをつくる中沢さん＝東京都内

制作したのは、NPO法人「日本ヴァイオリン博物館」(東京都の理事長中沢宗幸さん)の。これまでバイオリン約2000台の制作を手がけ、ストラディバリウスなどの世界中の名器を修理してきた。中沢さんは昨年被災地を訪ね、高田松原で7万本が一本を残して津波に流された惨状に胸を痛めた。大量の流木を見て、楽器に加工することを思い立った。

「木はまの歴史を知っている。家の柱や床になったものもある。形を変えて人を元気づけ、鎮魂してあげる。地元の人々の協力で採れた松から作った材料の厚さを整え、気持ちの良い共鳴音を探した。「理想は美しい音」という。流木から2台作った。1台

陸前高田 流木からバイオリン

東日本大震災で津波に流された松の木が、楽器職人の手でバイオリンに生まれ変わった。震災から1年の11日、材料の松を見つけた岩手県陸前高田市である追悼式で、世界的に著名なイストラエル人奏者が弾いて初披露する。その後は世界の奏者千人に弾き継いでもらう構想だ。

11日追悼式 名奏者ギトリス氏演奏

は11日の追悼式の後、海外の奏者たちに世界各地で演奏してもらった。もう1台は仮設住宅などの演奏会に使う予定。来年3月にはビデオを、再来年3月にはチェロを作るつもりだ。

追悼式では、現役最高齢奏者でバイオリン界の父と呼ばれるイストラエルのイリイ・ギトリスさん(89)が奏する。献花時、この日のために作られた鎮魂歌などを弾く。世界の千人に弾いてもう計画には音楽関係者らの賛意が寄せられている。中沢さんは10年以上かかるかもしれない。続けたら絆を結び、震災を風化させないようにも、必ず絆に触れる一と願う。(緒方雄大)

震災から2年が経過し「震災ヴァイオリン」に新しい命の響きが加わりました。陸前高田市の海岸で津波にも倒壊せず立っていた、あの、「奇跡の一本松」から、「魂柱」を譲り受けたのです。人々に勇気を与えていた松の木は、自然のいのちを終えて、モニュメントとして蘇ることになりました。その際「震災ヴァイオリン」の一部として木材を使ってもらいたいというお申し出を頂き、小さな木片を使い、ヴァイオリンの響きを決定する要の部分、表板から裏板へ振動を伝える「魂柱」の部材として使わせていただくことになりました。試練を耐え抜いた「奇跡の一本松」の命が、さらに深い響きをもたらしてくれると信じます。(中澤)



千の音色でつなぐ絆

心で繋ぐ千人のヴァイオリニストのリレー

2014年2月14日(金曜日)

沖縄タイムスホール 18:00開演

一般 2500円(2000円)
学生 1500円(1000円)

1【津波震災3県について】

在沖縄岩手県人会(美らめんこい会)
在沖縄宮城県人会(沖縄萩の会)
沖縄福島県人会
沖縄タイムス社 記者
琉球新報社 記者
上原 謙(NPO沖縄ユースオーケストラ代表)

2【一本松ヴァイオリン】

演奏 ヴァイオリン 阿波根 由紀
ピアノ 山根 貴志
テノール 久高 将玄

演奏曲目

浜辺の歌
えんどうの花
泊り舟
なんと浜
谷茶前
ていんさぐぬ花
芭蕉布
上を向いて歩こう
いつでも夢を

東日本大震災復興支援ソング

『花は咲く』
ふるさと
天久小学校合唱部

主催：Tsunami Violin Project 委員会

後援：NHK沖縄放送/沖縄タイムス社/琉球新報社/沖縄ユースオーケストラ/那覇新都心通り会/FMLレキオ
沖縄タイムスアド企画/県立美術館Happグループ/サンエーグループ/琉美インターナショナルビューティーカレッジ
琉球銀行/沖縄銀行/海邦銀行/ループ・シャントン/エドワードペンシル社/(株)カルティペイ/サイトスパイラル
在沖縄岩手県人会(美らめんこい会)/在沖縄宮城県人会(沖縄萩の会)/沖縄福島県人会

事務局：Tsunami Violin Project委員会

〒900-0005那覇市天久2-19-17(沖縄ユースオーケストラ事務所宛)
電話：098-863-1003 FAX：098-860-7306 携帯電話：090-7395-3467(上原)
E-mail: kenmsk07@gmail.com



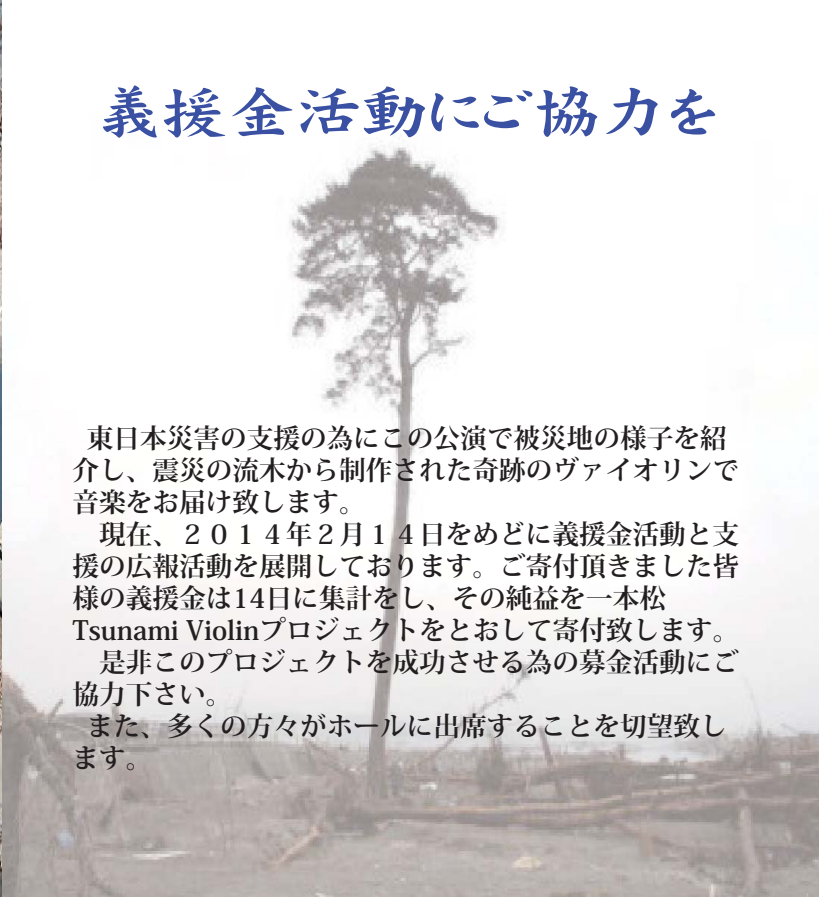
義援金活動にご協力を

東日本災害の支援の為にこの公演で被災地の様子を紹介、震災の流木から制作された奇跡のヴァイオリンで音楽をお届け致します。

現在、2014年2月14日をめどに義援金活動と支援の広報活動を展開しております。ご寄付頂きました皆様の義援金は14日に集計をし、その純益を一本松 Tsunami Violinプロジェクトをとおして寄付致します。

是非このプロジェクトを成功させる為の募金活動にご協力下さい。

また、多くの方々がホールに出席することを切望致します。



Tsunami Violin Project支援義援金申込書

貴社名

代表者名

ご担当者名

連絡先
電話番号

メール

住所

問い合わせ先

〒900-0005 那覇市天久2丁目19-17 1F

沖縄ユースオーケストラ事務所 (内)

Tsunami Violin Project(宛) 電話：098-863-1003

FAX：098-860-7306 携帯電話：090-7395-3467 (上原)

E-mail：kenmsk07@gmail.com

「希望の一本松だ」

保存費用めぐり批判も

東日本震災の被災地で、きた岩手県陸前高田市の復興への心をなべて「奇跡の一本松」が、生ま



切り倒された「奇跡の一本松」=12日午後3時30分、岩手県陸前高田市、葛谷晋吾撮影

この日は朝から2000人を超える人が集まった。高田

な思いが交錯している。▼1面参照

れ変わる。モニユメントにするため、12日に切り倒されたが、保存法も費用負担をめぐり、地元では複雑な思いが交錯している。

振込先銀行口座

- 沖縄海邦銀行 新都心支店
(普通) 口座番号 0146197
ツナミヴァイオリンインカイ ウエハラケン
- 沖縄銀行 新都心支店
(普通) 口座番号 1444386
ツナミ ヴァイオリン インカイ
- 琉球銀行 那覇新都心支店
(普通) 口座番号 113831
ツナミヴァイオリンインカイ

2012年9月13日
朝日新聞

松原を守る会副会長、小山芳弘さん(右)は、高田の街を歩いたし、多くの皆さんを連れてきてくれた一本松には本当に感謝している。でも、切ってしまう選択が本気でよかたのか、保存処理は「皮だけを残して製にするような作業と複雑だ。」

一本松は、昨年12月に枯死。市は今年7月、モニユメント化を決めた。

13日、愛知県津島市にある製琴工場にトラックで運ばれた。幹は中心をくりぬき、炭素繊維補強樹脂(カーボン)の心軸を入れる。京都府山科区の研究所で、樹皮の生体保存や防霉の処理をする。陸前高田に戻るのは来年3月の予定だ。

作業には約1億5千万円がかかる。保存税金を使うことには反対意見もあり、市は7月の寄付金募りだが、9月10日時点で約2608万円にとまらぬ。

仮設住宅に住む小友勝美さん(右)は「あれはまさしく、希望の一本松だ。シンボルとして残してくれるのはありがたい。」

仮設住宅で暮らす久納京子さん(右)は無条件には書けない。「一本松だけが特別じゃない。普通のお金が集まることも、困っている漁業や商店の人たちも、まだたくさんいるのに。」

そんな久納さんも11日、一本松を訪ねた。震災後、初めて来た。「でいぼりいいもんだね。松原のこと、思い出させた。そうしてほほえんだ。」

(杉村和樹)